

事業名

食と農を考える

目 標

平城を愛し、自分も友達も大切に子どもを育てよう。

1. 取組の視点

平城中学校区では、「平城を愛し自分も友達も大切に子どもを育てる」ことを目指し、地域・家庭・学校園が三位一体となり、感動を味わい、心を動かす体験を企画しました。

本年度は、「食と農」をテーマに地域の田畑を利用した栽培活動を子どもたちの発達段階に応じて行いました。その活動を通して子どもたちに自然や人を愛する豊かな感性や規範意識、達成感、成就感を養いたいと考えています。

2. 取組の概要

学校園・家庭・地域が一体となって、地域の田畑を借りた栽培活動やみそ作り、調理などに取り組みました。これらの成果発表の場として「平城“食と農”ふれあいフェスタ 2012」を奈良競輪場で開催しました。中学生が製品化した“平城パープルスイーツ”や“平城鉄火みそ”の販売と学校園の学習発表などを通して、学校園・家庭・地域のつながりをさらに深めました。



平城“食と農”ふれあいフェスタ 2012

【 地域教育協議会の取組 】

- ゲストティーチャーとしての支援
- 体験学習（農業等）への協力・支援

- 放課後子ども教室への支援
- 子どもの安全見守り活動



平城っ子の畑で農業体験



いっぱいとりえるかな

3. 成果と課題

【成果】

子どもたちが様々な人・物・事と出会い、感動を味わったり、心を動かしたりすることができました。また、栽培活動を通して土の温もり、人の温もりを感じ、栽培の苦勞と収穫の喜び、友達と力を合わせることを学びました。そして、感謝や尊敬の気持ちが芽生えました。さらに、収穫や商品化できた時には食べる楽しみや食べてもらう喜びを知り、達成感や自己肯定感を味わうことができました。

そして、何より諸活動を通して学校園と地域との関わりが密になりました。

【課題】

取組について十分な広報活動ができなかったことと日々の活動において支援できる人材を新たに探し、協力体制を強化することです。

事業名

学校・家庭・地域で取り組む“食と農”

目標

平城を愛し、自分も友達も大切にする子どもを育てよう。

1. 取組の視点

平城中学校区では、「平城を愛し自分も友達も大切にする子どもを育てる」ことを目指し、地域・家庭・学校園が三位一体となり、感動を味わい、心を動かす体験を企画しました。

本年度は、キャリア教育の一環として「食と農」をテーマに地域の田畑を利用した栽培活動を行いました。栽培、収穫、調理、製品化という過程を通して子どもたちに自然や人を愛する豊かな感性や規範意識、達成感、成就感を養いたいと考え取り組みました。

2. 取組の概要

① 地域の方や保護者との交流

- ・ 紫いもの栽培
- ・ 花の苗植え付け（春秋2回）
- ・ 環境美化作業CG大作戦（夏冬2回）
- ・ 親子料理教室



紫いもの栽培



親子料理教室

② 幼・小・地域との交流

- ・ 出前で部活交流
（サッカー部、野球部、美術・家庭科部）
- ・ 美術家庭科部のマーブル祭りへの参加
- ・ 平城“食と農”ふれあいフェスタ 2012
学習発表、展示発表、舞台発表、パープルスイーツづくりと販売、未就園児・幼稚園児・小学生のためのあそびコーナーの企画運営

- ・ 職場体験学習を通しての、地域の方々や保育所・幼稚園・事業所等での交流



パープルスイーツをフェスタで販売

3. 成果と課題

【成果】

- ・ 自ら育てた紫いものを調理したり食べたりする喜びを感じるとともに、製品化することでその喜びを友達、家族、地域の人と共有できました。
- ・ 耕地、栽培、調理、製品化、販売という行程を体験することで、農業に従事する方の専門的な知識や技能に対して尊敬や感謝の気持ちが生徒たちに芽生えました。
- ・ 「平城“食と農”ふれあいフェスタ 2012」は2000人を超える参加を得て成功裏に終えることができました。
- ・ 地域、幼稚園、小学校と連携して行ったこの活動が、キャリア教育として文部科学大臣表彰を受けました。

【課題】

- ・ 十分な広報活動ができませんでした。
- ・ ふれあいフェスタでは、たくさんの協力を得ましたが、日々の活動において支援できる人材が不足しています。コーディネーターを中心に活動を支援できる人材を新たに見つけ、協力体制を強化することです。

事業名

目 標

平城から学び、平城で学ぶ～こころ、からだ、くらしづくり～

地域・家庭・学校が三位一体となり、様々な人々・物・出来事とかかわり、感動を味わい、心を動かす体験をともにする。その中から豊かな心や規範意識、達成感、成就感を養い、コミュニケーション能力を伸ばしていく。

1. 取組の視点

米、野菜、花などの栽培やみそづくり、昔遊びなどの体験学習で地域の方に教えていただきながら学習し、地域の方とふれ合う中で、児童のやる気を引き出したり、収穫や作り上げる喜びによる達成感や成就感を味わわせたりするとともに、自分たちはこの地域の中で大勢の人に見守られながら暮らしていることに気づき感謝できる取り組みを進めます。

また、地域の方や仲間との豊かなコミュニケーションができるように、情操と言語力を養うために「朝の読書」を充実させていきます。そのための学級図書に充実を努めます。

2. 取組の概要**◎食と農に関する栽培体験学習**

学級園や地域の方にお借りしている畑を使って、春・夏・秋野菜の栽培をしています。収穫した野菜は、学校や家庭で調理してもらったり、親子料理教室を実施し、そこで使ったりしています。毎日熱心に水やりをして成長を楽しみながら観察したり、草取りをしたりしている児童の姿が見られました。水田をお借りしての米作り体験では、田植えから脱穀作業までを体験させていただきました。地域の方から米作りの苦労や喜びを学んだことを追体験することで、米作りへの理解がより深まりました。今年は「もち米」作りに挑戦し、新米を使い地域の方と一緒に餅つきをし、奈良独特のきな粉でいただいたり、ぜんざいに入れていただいたりしました。

**◎地域とのふれあい**

地域の「昔遊び名人さん」にこまや竹馬、ゴム跳びなどの昔遊びを教えてもらい、名人さんと遊んだり、友だちと遊んだりして楽しみました。

地域の方に教えてもらって手作り味噌を仕込み、半年後熟成した味噌を使って家庭科で味噌汁作りの調理実習をしました。お世話になった方を招待して、「味噌感謝会」を開き、味噌汁と一緒にいただきました。いただきながら、地域の方とふれ合うことができ、改めて感謝の気持ちを持つことができました。



また、「車いす体験」「盲導犬学習」など、地域の方の協力を得て児童の人権にかかわる学習をより深めることができました。

◎平城「食と農」ふれあいフェスタ2012への参加

参加者2000人以上と、幼・小・中・地域の連携の広がりを感じることでできたフェスタは、中学校や地域のバザー・炊き出し、大道芸人によるパフォーマンス、保護者の人形劇、そして、学習発表と充実した時間になりました。

3. 成果と課題

様々な体験活動で児童の理解が深まり、達成感や成就感を味わうことができました。

今年度は、「平城っ子応援団」の設立など地域とのつながりがさらに広がった。今後も、各学年の発達段階を考えた体験学習を整理し、児童の成長により効果的な体験学習を地域の協力を得て進めていきたいと考えています。

事業名 **様々な感動体験を通して輝け夢いっぱい！平城っ子**

目 標 明るく楽しく学べる幼稚園を目指し、地域・家庭・学校園が三位一体となり、様々な人々・物・出来事とかかわり、感動を味わい、心を動かす体験を共にする。その中から豊かな心や規範意識、達成感、成就感を養う。

1. 取組の視点

本園の周辺は子どもの遊び場が少なく、自然環境には恵まれています。人とかかわりや自然と触れ合い心躍る体験をする機会が少ないため、幼稚園での生活や遊びを通して心身共に健康でたくましい幼児の育成を目指しています。今年度は、食育を中心に地域の方々との連携を積み重ね、様々な活動を通して子どもたちに感動体験ができるような保育内容の創意工夫に努めていきます。

2. 取組の概要

(1) 保護者や地域の方々との栽培活動

①親子栽培活動

夏野菜を親子で『わくわく広場』（園庭の畑）に植えました。子どもたちは、土作りから行い親子で世話をすることで、成長を楽しみにする姿が見られました。

②地域の方の畑でサツマイモを育てる

地域の方々にツルのさし方を教えていただき、収穫の時に大きなサツマイモが収穫できたことを一緒に喜んでくださり、楽しい時間を過ごすことができました。

③地域の方とお米作り

園庭の田んぼで地域の方に教えていただき、田植えから収穫までをしました。収穫したお米を使い、『収穫祭』で地域の方を招待して一緒におにぎりときつまつ汁を食べました。自分たちで育てたお米の味は格別だったようです。子どもたちから地域の方に話しかけ、親しみと感謝の気持ちをもつことができました。



(2) 平城“食と農”ふれあいフェスタ2012

親子で参加しました。学習発表会では、歌や踊りを見ていただき、小・中学校の発表も聞きました。地域の方々と触れ合う機会もあり地域の中で子どもたちを育ててくださっているという思いをもつことができました。



(3) 地域の高齢者との交流

地域の高齢者施設に出掛け、手遊び等で一緒に高齢者の方と遊び、身近に子どもたちの姿を見ていただいたことで温かな交流の機会となりました。

(4) 交通安全教室と登降園の見守り

平城こども安全ボランティアの方々が園児や保護者の登降園を見守り続けてくださっています。毎日声掛けをしてくださっていることで、親しみや感謝の気持ちが育っています。

(5) 小・中学校との交流

①小学校とは、昨年に引き続き年間計画をたて交流を行ないました。継続することで教職員間の交流ももてるようになりました。

②中学校とは、出前で部活、職場体験を通して憧れの気持ちをもちました。

(6) 未就園児との交流

月1回未就園児「ひまわり組」を実施しました。親子で幼稚園の様子を知り入園を楽しみにしていると保護者から聞くことができました。

3. 成果と課題

様々な活動の中で子どもたちに地域の方々への親しみや感謝の気持ちが育ちました。今後もコーディネーターの方々との連携を密にし、様々な活動の支援に活かしていきたいと考えています。